

はじめに

「あなたの強みは、何でしょうか？」

そう聞かれると、たとえば、「リーダーシップがあります」「企画力があります」といった答えが返ってくるでしょう。

もちろん、それも大きな強みに違いありません。

間違いないのですが、私が思うに、それだけではちょっと弱いと思うのです。

そのような強みを持っている人はこの世にたくさんいます。そんな中で、その強みを上手にアピールし活躍するためには、さらにプラスαの能力が必要です。

そのプラスαとは何でしょうか？

私が長年ビジネススキルについての講演やセミナーをしながら実感しているのは、いかに自分の言いたいことを「わかりやすく」伝えることが大事か、ということなのです。

きつかけは若い頃の留学体験にあります。

23歳のときにイギリスへ行ったのですが、そこで嫌というほど思い知らされたのが、「自分は本当に伝えることが下手だ」ということでした。

欧米人は本当に伝え上手で、簡単で、ロジカルで、わかりやすいのです。

たとえば海外の経営者のスピーチやプレゼンテーションを見るとわかりませんが、言うことに一々説得力があり、思わず感心してしまいます。経営者や学校の先生だけではありません。学生達ですら、そうした能力をすでに身につけているのです。

一方、自分は何を説明しようとしても「何が言いたいのか？」と聞き返されてしまう。英語は結構得意だったのに……です。

「このまま社会に出たらまずいんじゃないか？」

そう思ったのが、わかりやすさを身につけようとしたきっかけになりました。

以来、「わかりやすく」伝える技術について、そのトレーニング法を考え、磨いてきま

した。

そこで、気づいたことがあります。

優れたビジネスパーソンでも「わかりやすく」伝えることができなくて大損をしている、ということだ。

たとえば最近、東京大学や早稲田大学の大学院で講座を開く機会も多くなってきたのですが、「自分のアイデアや研究などをどうすれば人にうまく伝えられますか？」という質問をたくさん受けます。

どれだけ優秀で、専門分野を持っている人達でも、それを人にわかりやすく伝えることができず、悩んでいるのです。

「せっかくなのでいいアイデアを持っていても、それがうまく伝わらない」

学生か社会人か、頭がいいか悪いか、男性か女性かは関係ありません。

誰もが少なからずぶつかる壁なのです。

だからこそ、「わかりやすくする技術」を身につけておくかどうかで大きな差が生まれます。

実際、他にもたくさん専門家がいる中、池上彰さんがなぜあれだけ注目されているかと言えば、彼の話は抜群にわかりやすいから。これにつきると思うのです。

本書では、「何でもわかりやすくして、それをわかりやすく伝える」ための方法を、「話す」「聞く」「図解」「質問」「書く」「読む」といったトピックに分けて説明していきます。

私達は物事を複雑に考えがちですが、そんなことはありません。

一つひとつのコツ自体はとても簡単で、あとはそれをどう組み合わせていくかだけなのです。

・「何が言いたいのかわからない！」と上司に言われる

・何度説明してもわかってもらえない

・文章の意味が通っていないと指摘される

・本を読んでも全然理解できない

・アイデアがまとまらない

・聞き出したことをうまく聞き出せない

……そうした悩みも、必ず解決することができるはずです。

あなたがこのプラスαの「わかりやすくする技術、伝える技術」を身につけ、強みを上手にアピールできることを願っています。

2011年10月

安田 正